

2005年7月13日

大田原市教育委員会 殿

東京都文京区小石川 2-3-28-201

自由法曹団 団長 坂 本 修

「新しい歴史教科書をつくる会」の歴史・公民教科書（扶桑社版）
の採択に抗議し、採択の撤回を要求する

読売新聞の報道によれば、7月13日、貴教育委員会は、2006年4月から公立中学校で使用する歴史と公民教科書に「つくる会」教科書（扶桑社版）を採択した。

「つくる会」の教科書は、4年前、戦争を賛美し、歴史を歪曲する教科書として、国内外の世論の厳しい批判を受け、全国542の採択地区でひとつも採用されなかったものである。それから4年、貴教育委員会が公立中学校の教科書としてはじめて「つくる会」教科書を採択したことは、平和と民主主義を求める国内外の世論に対する重大な挑戦であると言わなければならない。

自由法曹団は、貴教育委員会に対し、今回の教科書採択にあたって、「つくる会」歴史・公民教科書についての「意見書」を送付し、同教科書の根本的な誤謬や教科書としての不適格性について詳細に論じ、同教科書を採択すべきではないとつよく要請してきたところである。

貴教育委員会が「つくる会」教科書を採択したことは、子どもと日本の現在と将来に重大な問題を引き起こし、国内はもちろん、アジア近隣諸国からも厳しい批判を受けることは確実である。

自由法曹団は、貴教育委員会が「つくる会」教科書を採択した暴挙に対し、怒りをもって抗議し、ただちに右採択を撤回することをつよく要求するものである。